



MONOLABO

寒冷地ものづくりラボ

北海道の積雪寒冷な環境に適応した、IoT製品等の開発を支援する試験拠点



道総研工業試験場では、国内外の最新規格に対応した電波暗室やシールドルームをはじめ、防水試験室、低温試験室を完備した「寒冷地ものづくりラボ (MONOLABO)」を設置しています。

製品開発における電波ノイズ対策や環境耐性評価の場として、道内企業の皆さまに広く開放しています。



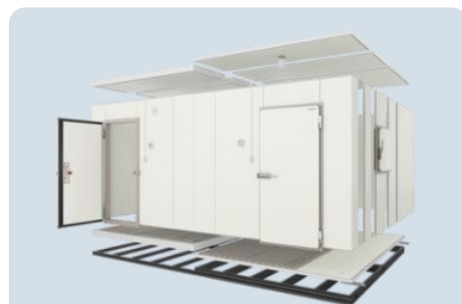
電波暗室・シールドルーム

- 道内初の3m法規格対応電波暗室
- VCCI登録設備での試験が可能
- 静電気・雷サージ等耐性試験に対応



防水試験室

- 道内初のJIS C 0920に対応した施設
- IPX4~6に対応する試験が可能
- 毎分100Lのジェット噴水流



低温試験室

- 30℃までの寒冷環境を再現
- 温度帯の異なる2つの試験室を完備
- 寒冷地仕様の動作検証が可能



お問合せフォーム

お問合せ・ご相談は

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター 技術支援部 工業技術支援G

電話：011-747-2348 メール：iri-sodan2@ml.hro.or.jp

設備の概要



電波暗室・シールドルーム

国際基準CISPR16を満たす道内初の3m法電波暗室を備え、VCCIをはじめとする国内外の主要なEMC規格に基づく測定・試験に対応しています。機器が発生させる電磁ノイズの測定や、外部ノイズへの耐性評価が可能です。静電気、BCI、雷サージ等の各種耐性試験を実施できます。車載機器向けの専用規格に基づいたノイズ試験にも対応しています。

設備仕様

室内寸法：10.4m×5.7m×7.0m ターンテーブル：直径2m / 耐荷重500kg
対応規格：VCCI、IEC 61000-4-3、ISO 11451-3、ISO 11452-4 等



防水試験室

道内初のJIS C 0920規格に準拠した試験設備を備え、強力な噴流水による製品への影響を評価できます。風雨にさらされる電子部品や、水を使う食品加工機械等の防水性能試験が可能です。

設備仕様

対応等級：IPX4、IPX5、IPX6（JIS C 0920準拠）
最大放水量：100L / 分
試料回転台：最大搭載荷重 100kg / 回転数 0~6rpm



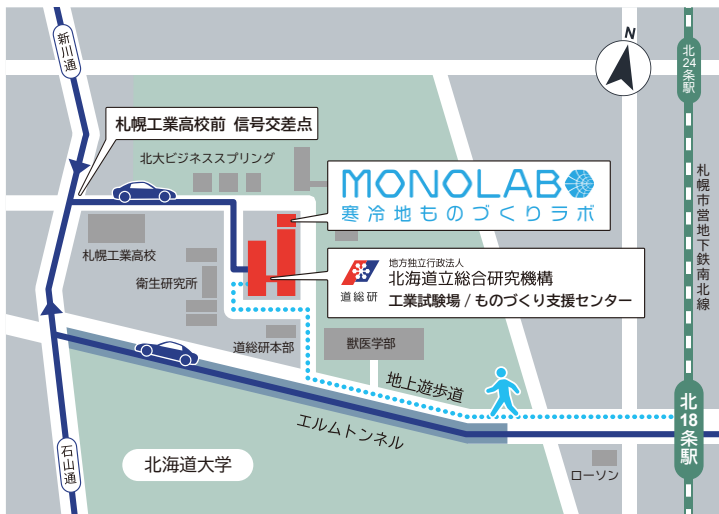
低温試験室

※本施設は工業試験場研究棟内に整備されています

道内公設試で唯一、低温環境下での機器動作検証が可能な大型試験室を2室完備しています。広い搬入口（幅150cm）を備え、大型製品や重量物の搬入にも対応。設定温度帯の異なる2室（+5℃~-20℃ / +5℃~-30℃）により、目的に応じた最適な環境での検証が可能です。

設備仕様（2室共通）

室内寸法：幅4.7m×奥行5.7m×高さ2.5m 搬入口：幅1.5m×高さ2.0m
床面耐荷重：400kg/m² 室内電源：単相100V（15A）、三相200V（20A）
付属設備：観測用窓（60cm×60cm）、配線用通し穴（φ100mm）



アクセス

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目

徒歩（約1km）

市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩約15分
※エルムトンネル上の地上遊歩道を通ります。

車

JR「札幌駅」北口より車で約15分
※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からお入りください。
※北18条駅側から来られる場合はエルムトンネルを通り、トンネル出口直後の交差点を右折してください。